

知事コメント

大阪府知事の吉村です。

まずは、新型コロナウイルス感染症対策へのご協力に感謝を申し上げます。ありがとうございます。

まさに非常時といえる今回の事態に直面をいたしまして、大阪における府市の協調、いわゆるバーチャル大阪都がいかに大切かということ、さらには、それを確固たるものにする大阪都構想が間違っていないことへの確信を日々強めています。大阪府、大阪市バラバラでは、このような危険対応はできません。

昼夜を問わず、私と松井市長で緊密に連絡をして、大阪府の統一的な方針のもと、PCR検査、医療体制の確保はもとより、学校における臨時休業の対応など、大阪府と大阪府で足並みを揃えて、強力で推進をしているところです。

こうしたことはこれまでの大阪府・大阪市の関係では考えられなかったことです。過去を見ていただければわかると思います。他の府県市と比べても、現在、府市一体で強固な危機管理の体制ができています。

もちろん、今は新型コロナウイルス対策に全力で取り組んでいます。政治家は常にその先の長期の視点での将来設計もきちんと描いていかなければならないと思っています。その核になるのがまさに大阪都構想です。

新型コロナウイルス収束後の大阪の未来と成長、そして暮らしの充実のためにも大阪都構想は必要だと思っています。

近年、大阪府・市が一体で取り組むことで、大阪の成長戦略や2025年大阪・関西万博の開催決定など、成果が上がってきました。この流れを途絶えさせてはいけません。

「大阪府と大阪府が連携してできているなら、このままでいいんじゃないの、大阪都構想なんて必要ないんじゃないの」という声もお聞きします。

でも、少し思い返していただきたいです。かつて、大阪府は大阪府域外のこと、そして大阪府は大阪府域内のこと、それぞれバラバラで判断して、例えばなにわ筋線などの大阪府をまたぐ交通インフラ整備も遅れました。また、りんくうゲートタワービル、ワールドトレードセンターなど、二重行政の無駄も生んでできました。

今、大阪府・市が連携できているのは、私と松井市長の人間関係という非常に脆弱なものです。大阪府と大阪府は、ともに広域的な役割を担って、それぞれが産業振興や交通インフラ整備などの似たような二重行政の仕事をしています。大阪が一つになって豊かになるために大阪都構想が必要だと思っています。

大きな役所がダブって二つある限り、知事・市長が代われれば、かつてのあの「府市あわせ」と言われた状況に戻りしかねません。

事実、今も、府市の関係部局で膨大な調整を行っている中で、なんとか進めているという状況、それが実態です。

これを人間関係による連携ではなくして、広域的な仕事は大阪府にこれは一本化をしていく、そして、子育てや福祉・教育など、住民の皆さんに身近なサービス、基礎自治の仕事は4つの特別区が身近なところで担う仕組みにしていく。役割分担を明確化・徹底することで、制度的に二重行政を解消して、そして大阪の成長を加速化させるのが大阪都構想です。

基礎自治の話は、市長にお任せをして、私からは大阪都のもとで、広域的な仕事をどうしていくのか、簡単にご説明をします。

今回の制度案では、大阪府・市の両方で実施をしてきました、広域の成長戦略、そして産業振興、広域的なまちづくり・インフラ整備などの仕事、人員、財源を大阪府庁に一本化をしていきます。そして成長に関する強力な司令塔を一本化して、二重行政をなくしていきます。

これまでのような府市の部局間での調整も不要になります。大阪全体をみて、成長に向けた施策を迅速に展開して、成長を確固たるものにしていきます。

また、安全・安心の分野では、2017年に府市の研究所を統合して設置をしました大阪健康安全基盤研究所、これが、コロナウイルスのPCR検査の主力を担っているという状況です。

大阪市内で必要な検査数が元のこの市の施設のキャパを超えましたが、元の府の施設で受け持つ、そういうことをすることで、研究所全体で能力をフルに発揮・活用しているところです。まさに統合効果が出てきています。これらをさらに前進させなければいけません。

今は、大阪府の大きな方針のもとで、府と市が一丸となってこのコロナ対策を進めていますが、このバーチャル大阪都の状態をさらに進めて、有事の際においても、大阪府がさまざまな危険事象を迅速に対応する司令塔機能確立させていきます。

このほか、大阪市の消防局・水道局、これも広域として一本化していきます。府内の他の市町村とともに、大阪全体の防災力の強化、それから持続可能な水道事業を実現していきたいと思えます。

大阪の将来にとって、大阪府と大阪市を「府市あわせ」と揶揄されるようなあの昔の状態に戻すのか、それとも、二重行政を解消して、大阪を成長させて、そして豊かで安全・安心な生活の実現をめざす大阪都構想をめざしていくのか、最終的に住民投票で皆さまにご判断をいただく、お願いするということになります。私自身は、大阪の成長の未来のためにも大阪都構想の実現が必要であると思っています。大阪都を実現させて、そして成長する大阪の土台をしっかりと作り、役割分担も明確にして、そしてそれを次の世代につなげていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いをいたします。